

行政報告の主な内容（5課18項目）

(1) 総務課	執行体制について
	国の栄典関係について
	上富良野町立病院運営改善の取組について
	行財政改革について
	自治基本条例について
	広域行政について
	頑張る地方応援プログラムについて
	旧教職員住宅の利活用について
	自衛隊関係について
(2) 町民生活課	住民参画の取組について
	町税等の収納対策について
	合併浄化槽設置事業について
(3) 産業振興課	農作物の育成状況について
(4) 建設水道課	見晴台公園の管理運営について
(5) 教育振興課	放課後子どもプラン事業について
	上富良野高校の存続問題について
	上富良野町・カムローズ市友好都市提携 20周年記念事業等について
(6) 総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成19年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

はじめに、6月9日及び6月15日に発生した局地的な大雨による被害の状況であります。特に15日早朝には、時間降雨量26.5ミリを記録し、町道で路肩決壊や側溝埋塞などの被害が発生したところであります。

被害総額は、直営分を含め5百22万円となり、その復旧対策費用として、6月15日付けで、3百55万円を予備費から充用させていただき、対応を図ったところであります。

また、農業関係では、清富・静修地区の一部圃場におきまして土砂が流出し、豆類・ビート・かぼちゃ等がその被害を受け、被害面積約1.5ヘクタール、被害金額約1百89万円となったところであります。

被害を受けられました農業者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

(総務課行政報告【総務班関係】)

次に、組織機構改革等に伴う新執行体制であります。平成16年4月からの12課26班体制を見直し、職員数適正化計画と行財政改革の推進に対応することを基本に、住民サービスの向上と共に簡素で効率的な組織運営を図るため、4月から10課22班に改編するとともに、時限的に必要な「総合計画策定」や「収納対策」などへ

の対応として、4ポストに専門主幹を配置し、新執行体制をスタートさせたところ
あります。

特に、町民の皆様が役場を利用される際に利便性が図られるよう「総合窓口班」を
設置するとともに、今後のまちづくりにおいては、町民の皆様との「協働」が重要な
キーワードとなりますので、「自治推進班」を設置しその促進に努めてまいります。

次に、国の栄典関係であります。4月29日発令の危険業務従事者叙勲において、
くぼとよし たてやましげはる さとういちろう はぎわらみつお ばばよしひろ すいほうたんこう
久保豊治氏、館山重春氏、佐藤一郎氏、萩原光雄氏、馬場義廣氏の5名が瑞宝単光
しょう
章を受章され、永年の功績が称えられたところでありました。また、故 みつはしいさお
三橋功氏が
きよくじつたんこうしょう
旭日単光章を受賞され、6月7日伝達されました。また故 ひらいすすむ
平井進氏には6月1
じゅうろくいきよくじつそうこうしょう
2日付で、従六位旭日双光章の受賞が決定されました。

改めて受章されました皆様のこれまでの功績に心から敬意を表するものであります。

また、昭和37年以来26年ぶりに噴火した昭和63年暮れ以降の十勝岳防災対策
に際して、様々な指導助言をいただいた かついよしお
勝井義雄北海道大学名誉教授が、春の叙勲に
おいて、永年の教育研究功勞による すいほうちゅうじゅうしょう
瑞宝中綬章を受章されましたことから、6月1
6日に札幌市内で行われたお祝いの会に、副町長が出席し祝賀してまいりました。

次に、上富良野町立病院運営改善の取り組みであります。国が定めた医療制度改革大綱に基づき、過去に例のない大きな診療報酬等の改定がなされ、加えて平成23年度の介護病床廃止等の方針を受けて、現状では将来に向けた病院経営が大変困難を極めております。これからも町民の方々が安全で安心して生活できる環境づくりのために、必要な地域医療等を将来に向けて維持継続できる方策を検討すべく、職員で構

成するプロジェクト会議を設置し、検討協議をスタートさせましたので、町民の方々や議会の皆様方との協議を経てできる限り早期に、その方向性を定めてまいりたいと考えております。

（総務課行政報告【行政改革関係】）

次に、行財政改革の平成18年度の取組みであります。その成果は人件費分の3億4千8百59万円を含め、7億2千95万円となり、平成16年度からの実績額とあわせて、3年間で13億5千4百22万円の効果となったところであります。なお、詳細については、町広報7月号にて周知を予定しております。

次に、自治基本条例の検討状況であります。これまでに町民で構成する「自治基本条例づくり検討会議」が14回開催され、条例素案の具体化に向けて、活発な意見・議論が重ねられており、6月下旬には答申を受ける予定になっております。

今後におきましては、条例素案について、町民への周知を図りながら、議員各位を始め多くの町民の方々と協議を重ね、条例制定に努めてまいります。

（総務課行政報告【広域行政関係】）

次に、広域行政であります。今年2月以降、富良野広域連合準備委員会の8専門部会において、今月末を目処とした報告書の取りまとめに向け、現在、広域連合で処理すべき事務の具体的な検討作業を進めているところであります。

その検討結果については、7月上旬に副市町村長等で構成する幹事会を経て、7月下旬に5市町村長で構成する委員会への報告を受け、広域連合で処理する事務を決定

する予定であります。

決定後は、広域連合規約原案・負担金等、更に詳細について検討、協議を重ね、当初目標とした平成 20 年 4 月にスタートできるよう諸手続きを取り進めてまいりる予定であります。

（総務課行政報告【企画財政班関係】）

次に、国が 3 ヶ年の期間として創設した「頑張る地方応援プログラム」に対する当町の取組みであります。当プログラムへの積極的な応募に向けて、関係職員で構成するプロジェクト策定会議を設置し、本年度は既定の取組みの中から 6 分野について応募することとしたところであります。

5 月の 1 次募集には、「町税等収納対策推進プロジェクト」と「自ら考え自ら実行する自治活動の推進プロジェクト」の 2 件について提出したところであり、残り 4 件については、7 月の 2 次募集に向けて提出するよう現在準備を進めているところであります。

なお、提出した内容については、順次町の行政ホームページに掲載して広く町民の方々に公開してまいります。

次に、旭町の旧教職員住宅の利活用であります。本年 5 月 1 日までに 4 棟 8 戸の住宅が、教育財産から町の普通財産に移管されたことに伴い、一時的に住宅を探しておられる方や、本町へ移住を予定されている方の準備住宅に位置づけて、有効活用を図るべく、町広報 5 月号及び行政ホームページを通じて入居募集したところ、6 月 15 日の申込み期限までに、予定戸数を越える多数の申込みがありましたので、選考の上入居者を決定し、7 月 1 日から入居を開始できるよう準備を進めているところであります。

ります。

（総務課行政報告【基地調整室関係】）

次に、自衛隊関係であります。自衛隊の削減に対する上富良野駐屯地の現状規模堅持及び演習場拡張整備の要望行動につきましては、富良野地方自衛隊協力会の各構成首長とともに、5月23日には地元上富良野駐屯地と旭川第2師団へ、5月30日には札幌北部方面総監へ、6月5日には防衛省陸上幕僚監部をはじめとする関係者に行ってまいりました。

また、自衛隊記念式典関係であります。5月26日に北部方面後方支援隊創隊7周年記念式典、6月9日には第2師団管内殉職者自衛隊員追悼式に、翌10日には第2師団創立57周年記念式典に出席してまいりました。

なお、6月17日には上富良野駐屯地創立52周年記念式典が行われ、多くの町民と共に祝いすることができました。

次に、基地協議会関係であります。4月下旬から5月上旬にかけ、上富良野基地周辺整備事業の要望を、上富良野駐屯地、旭川第2師団、北部方面総監、札幌防衛施設局に、それぞれ構成団体とともに要望運動を行ってきたところであります。

（町民生活課行政報告【自治推進班関係】）

次に、住民参画の取組みであります。平成16年10月から開設しております「出前講座」については、平成18年度中、10講座39団体延べ311名の参加があり、今年度に入ってから、既に6団体から申込みが入っております。

また、「出前講座」のメニュー-に新たに町立病院関係を加え全 28 講座としたところ
ありますので、皆様の積極的な参加、活用をお願いしたいと存じます。

(町民生活課行政報告【税務班関係】)

次に、町税等の徴収状況であります。平成 18 年度においては、預金調査 627 件、
給料・年金支払調査 31 件、不動産調査 9 件、町外者実態調査 82 件の滞納者に対する
財産調査等を実施した上で、延べ 86 件の差押えを執行し、4 百 44 万 5 千円を換価収
納いたしました。

また、管理職全員による滞納プロジェクトを 3 回実施し、延べ 372 名(うち上下水道
料対象者 121 名)の臨戸訪問徴収により、町税 8 百 17 万 9 千円、上下水道料 87 万 3
千円の徴収をいたしました。

さらに、夜間・休日納税相談窓口を 4 回設置して、日中納税ができない町民のため
の収納サ - ビスの向上に努めるとともに、夜間・休日納税相談日に併せて滞納者延べ
696 名の呼出し催告を行い、9 百 16 万 1 千円を徴収するなど、さまざまな収納対策を
講じて、税収の確保に努力しているところであります。

5 月末現在の滞納繰越税額は、町税で 2 千 92 万 8 千円、国保税で 3 千 9 百 76 万円
となっており、前年対比では町税で 83 万 6 千円、国保税で 7 百 31 万 9 千円の減とな
ったところであります。

今後も適切な対応に努めてまいります。

(町民生活課行政報告【生活環境班関係】)

次に、合併浄化槽設置事業であります。本年度は計画設置数を 5 人槽換算で 20

基の計画とし、対象者 592 名の方に設置希望調査を行ったところ、28 件の希望がありましたので、優先順位を新築、介護改築、一般改築と定めて審査した結果、最終的に新築 4 件、介護改築 3 件、一般改築 10 件の合計 17 件の設置を決定したところであります。

（産業振興課行政報告）

次に、農業関係であります。今年は、春耕期を迎えた 4 月中旬は低温が続き、更に 4 月下旬から 5 月上旬には降雨量が多く、耕起作業の遅れなどから山間部ではビート、馬鈴しょの植え付けや移植作業が 5 日程度の遅れとなりました。

水稲においては、風の影響で平年に比べ 3 日程度の遅れで移植作業が終了しております。

その後の 5 月中旬から下旬の低温・日照不足、風による影響で、畑作関係においては生育が停滞し、水稲においては植え^う傷^{いた}みがみられましたが、6 月に入り天候が回復したことから、現在は問題なく順調に生育しておりますので、よい出来秋を迎える事を願っているところであります。

（建設水道課行政報告）

次に、本年度から供用開始しました見晴台公園の管理運営であります。町の指定管理者として「社団法人 かみふらの十勝岳観光協会」と管理運営の協定を締結し、4 月 1 日から施設の維持管理、6 月 1 日からは案内所を正式に開所し本格的な施設機能を発揮いただいているところであります。

今後行楽シーズンを迎える中で、農業・商業・観光など地場産業に係る情報発信を

はじめ、様々な活動を展開する中から、地域PR、地域振興につながる場としての管理運営を期待するところであります。

（教育振興課関係）

次に、新たにスタートしました「上富良野町放課後子どもプラン事業」であります
が、上富良野小学校と上富良野西小学校では「放課後スクール事業」「放課後クラブ事
業」を、東中小学校と江幌小学校では「みんなで遊ぼう事業」を開始しております。

本事業の参加登録者は、6月6日現在において263名と全町児童の37.7%とな
り、昨年の「地域こども教室」と比較して、登録数はほぼ同数となっておりますが、
利用者数では倍増している状況にあります。

今後も、放課後の子ども達の安全で健やかな活動場所の充実に努めてまいります。

次に上富良野高等学校の存続問題であります。昨年度において、北海道教育委員
会が公表した「新たな高校教育に関する指針」に基づき、再編の対象となることが懸
念される状況から、町民総意で上富良野高等学校の存続を求めるため「上富良野高等
学校の存続を求める署名」活動を展開し、北海道知事、北海道教育委員会等に署名簿
を提出し、上富良野高等学校の存続を強く訴えてきたところであります。本年度の
入学者数は27名となり、残念ながら新1年生においては1間口という結果になった
ところであります。

引き続き地元事情を訴えるため、5月30日には教育委員会と共に北海道教育委員
会を訪問し、上富良野高等学校の存続に向けての要請を行ってまいりました。

平成20年度においては、多くの入学者確保にむけて関係機関等とともに努力して

まいりますので、関係各位の今まで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

次に、本年度計画いたしました「上富良野町・カムローズ市友好都市提携20周年記念事業及び第5回上富良野町青少年国際交流事業」概要についてご報告いたします。

本事業は3月19日に実行委員会を立ち上げた後、参加者募集等を経て6月1日に結団式を行ったところであります。

今後につきましては、私と教育長がそれぞれの団長となり、町内在住の中学1年生から高校3年生までの18名の参加者と5名の引率者と共に、7月30日から8月7日までの間、カナダ国カムローズ市等を訪問し、両市町の友好を深めてまいります。

（総務課行政報告【企画財政班関係】）

最後に建設工事の発注状況であります。本年度入札執行した建設工事は、6月7日現在、件数で8件、事業費総額で2千6百82万7千5百円となっております。

また、本年度より、これまで以上に競争性が発揮されるよう、入札制度に改善策を講じたところであり、ここ数年96から98%台で推移していた落札率が、先の8件の平均で、92.38%となったところであります。

なお、お手元に「平成19年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。

以上をもちまして、行政報告といたします。